

備を進めていきたい。(4)耐震診断から改修につながる施策が重要。無料化した耐震診断の利用者アンケート調査をして事業の成果をはかるべき。市) アンケートはニーズ把握に有効な手段のため、実施したい。又、除去に対する支援制度の構築も視野に検討したい。さの) 地震対策として家具転倒防止対策は効果的である。今後、市としてどう取り組むか。市) 安価で良質な防災用品を斡旋する仕組みづくりを進めている。

2. 第4次男女共同参画基本計画をふまえた取り組みについて(1)第2次男女平等推進行動計画に介護と育児が同時進行する「ダブルケア」の視点を入れていただきたい。市) 検討組上に乗せていきたい。(2)女性の視点を防災に活かすために防災担当女性職員の存在は必要。市長) 女性職員配置は有効的。人数枠の確保はしたい。

3. 女性のがん対策について

子宮がんには頸がんと体がんがあり、体がんは増加の傾向にある。罹患年齢も違うことなど、広く周知することが受診率向上にもつながる。市) 市の検診では医師の判断で50歳以上の方は体がん検診もできる体制。その年齢層をターゲットにした周知方法を考え、子宮がん検診の重要性を伝え、受診勧奨に努めてまいりたい。

4. 切れ目ない子育て支援について

妊娠、出産から子育ての切れ目ない支援をすることが大事である。とりわけ産後ケアは重要だが、市としてどう取り組むつもりか。市) 産後ケアをするためには妊娠期からつながる必要性がある。まずは保健センターと親子ひろばが連携して身近な相談体制構築からはじめたい。

5. 認知症対策について

65歳未満の若年性認知症の方の相談体制はどうなっているか。今年度開設した認知症カフェを居場所として利用をすすめるべき。市) 市は高齢者相談室が窓口。地域包括支援センター、地域連携型医療センターとしっかり連携したい。

上杉謙信は国分寺を通ったか



自民党国分寺市議団 新海 栄一

新海) 前回に続いて市内文化財・歴史的遺産の保存状況、広報の現状についてお聞きしたい。全国初の旧石器時代の遺物の発見地、恋ヶ窪の熊ノ郷遺跡の説明板の設置の可能性は。

教育部長) 熊ノ郷遺跡の学術的意義を伝える説明板は設置の方向で関係課と協議中です。

新海) 本町2丁目～南町で全国で最初に見つかった縄文時代の遺物が層状に見られる遺物包含層発見地の説明板については現地に戻せるか。

教育部長) 北口の自転車駐車場建設時に設置してあった説明板を撤去したが、重要な遺跡であることから、現在設置可能な場所を検討中。

新海) 鎌倉街道は東山道武蔵路の上を通過している。この時、武蔵路は無かったと思われる。武蔵路はいつ頃まで使われていたのか。

教育部長) 武蔵路は771年に東山道から東海道路に所属変えされ駅路としての使命は終えているが、その後も北関東と南関東を結ぶ道路として機能していたことは発掘結果からも判明している。しかしその終焉は明確ではない。

新海) 「前9年の役」と「後3年の役」に出陣した源頼義と源義家が国分寺と府中に滞在したことは記録にある。義家が最後に通過した1091年には武蔵路は健在だったと思われる。この二人の他、武蔵路は平将門が、また鎌倉街道は源

頼朝、畠山重忠、新田義貞、足利尊氏、上杉謙信等が通過している。現在の伝鎌倉街道や東山道武蔵路の説明に、これ等歴史上の有名人がここを通ったという説明を入れられないか。

教育部長) 通った可能性はあるが、市として明確に説明板等を設置する場合は、歴史的に正確性を期して行かなければならないと考えます。新海) 正確を期するのは難しい。しかし前後の記録から推測してほぼ確実なものは国分寺の観光要素を高めるためにもPRしていきたい。

新海) 国分寺薬師堂は毎年10月10日ご開帳があり、全国各地から多くの人々が来ているが、中心は国分寺講の方々である。国分寺講についてお聞きしたい。

教育部長) 明治37年頃の国分寺村の八幡社、薬師堂の祭礼では本村62戸と停車場25戸が表記されている。基本的には江戸時代以来の旧国分寺村と現本町の方々が構成されている。なお八幡社の氏子は昭和8年に国分寺駅北口に八幡神社が分社したことで別になっている。

防災対策 & 西町サンライト 地域交流室開放を



国分寺政策市民フォーラム だて 淳一郎

西町の特養サンライト地域交流室の早期開放を

だて) 地域の皆さんがサンライト交流室の一般開放を心待ちにしているが、その後の進捗は？市) 運営側も地域に開かれた施設を目指すと言っている。市としても働きかけを進める。

だて) 一日も早い市民利用の実現を要請する。

熊本地震から考える地域防災計画について

(1) 初期消火力の強化に向けて

だて) 災害時の火災延焼防止に大きな役割を果たす消火器だが、多くの市民が常備していない現実がある。市としても購入補助など、消火器を求めやすい仕組みづくりを検討してほしい。市) 現在、消火器を含む、良質な防災用品を市民に安価で購入して頂けるような協定を結ぶべく、検討を進めている最中である。

(2) 避難所でのプライバシー保護について

だて) 避難所における、特に女性へのプライバシー保護については初動対応が一段落した後の、二次的な対応として行うのではなく、システムとして初動時から組み込んで頂く事が重要であると考えます。そこに必要なものは「男性の理解と協力」である。そのような理解を浸透させるための方策について市の考えを伺う。

市) 避難所運営での女性視点は非常に重要であり、本市でも更に対策を充実させていきたい。また、防災まちづくり学校などを通じて、男性の理解促進に向け、取り組んでまいりたい。

(3) ペットへの対応について

だて) 多くの方が家族の一員として、犬や猫をはじめとしたペットを飼っているが、今回の熊本地震でも、鳴き声などを気にして避難所ではなく、車中泊をした方が多く見られた。震災時の同行避難に関する想定はどうなっているか？市) 市の畜犬登録は5044頭。そのうち1500人くらいが同行避難をするのではと推測する。猫なども含めた細かな分析は現状行っていない。災害時には動物避難所の設置を行うべく、獣医師会と協定を結んでいる。

(4) り災証明発行について

だて) 被災者の生活再建に必要な、り災証明の発行は総じてスムーズにいかないことが多い。熊本地震でも使用された「り災証明発行システ

ム」を当市でも早期に導入すべきと考える。市) 熊本でも有効に活用されたと聞いている。導入済みの自治体にヒアリングなどを行いたい。

知って、来て、住み続けたい まちを目指して



公明党 なおの 克

●子育て支援について

問) 子ども医療費の無料化について、少子化対策や子育て環境の充実を図るため、子どもの医療の無料化が広がっている。当市でも無料化の対象を広げていく必要があると考えるが？

子ども家庭部長) 全体の施策の中でどのようなことが効果的にできるか、研究していきたい。

問) 独自の育児支援制度について、出産時のお祝いや多子家族のサポート等、子育て支援施策を独自で設けている自治体が増えている。創意工夫でさらに喜ばれる支援施策を求めたい。

子ども家庭部長) 例えば、親子ひろばの利用者に今どんなニーズがあるのか聞き取りをし、先例事例とともに研究し取り組んでいきたい。

●まちの魅力発信について

問) 当市のまちの魅力発信として、課題抽出し、しっかりとマーケティング戦略や計画を立てていくことが重要だ。観光案内・マップのHPの充実や観光協会・商工会との連携、都庁の観光案内ブースの活用、外国人へのアプローチ、各機関との協力体制等、充実を図って頂きたい。

●ぶんバスについて

問) けやきルート(東恋ヶ窪周辺地域)本運行に向けて、早期実現を強く求める。

都市計画担当部長) 東恋ヶ窪三丁目周辺の公共交通空白地域において課題の転回場所の確保のめどがついた。年内の運行開始に向けて運行事業者の公募を行い、12月の運行を目指している。

●国分寺駅北口周辺まちづくりについて

問) 自転車駐車場対策について、鉄道事業者の責任において、整備するよう誘導すべきでは？

都市建設部長) 引き続き協力を求めていきたい。問) 商業振興を鑑み、買い物利用者や駅前商店の利用者に駐輪施設を数時間無料化していくことを政策的な取り組みが必要ではないか？

都市建設部長) 一定時間無料化を研究する。

問) 国分寺駅北口の東側エリアの活性化に向け、国分寺駅北口自転車駐車場の土地をどう活かしていくのか、北口再開発と一体的に高度・有効利用をすべきだ。市は地権者として、民間と連携した事業展開を目指して、まちづくりの方針を示していく必要があるのではないか？

市長) 指摘のところは市の重要な財産である。有効な利用を考えてまいりたい。

次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成28年第3回定例会は、9月1日(木)から開会の予定です。

議会はどなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴にお越しください。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。